**『小児用医療機器の日米同時開発に係る課題抽出等に関する研究報告（AMED報告）』**

このたび、私、坂本喜三郎が研究開発代表者を務めております、AMED医薬品等規制調和・評価研究事業「小児用医療機器の日米同時開発に係る課題抽出等に関する研究」の 研究班が報告書を書きあげ、フルバージョンのPDFが当院HPに掲載されました。

皆様ご存知のように、小児領域における医療機器開発は、対象疾患の特殊性やそれに伴う開発の難しさ、成人領域に比べて小さい市場規模等の課題から、世界的に開発が遅れております。

しかし今回、調査結果より小児用医療機器の早期開発に向けた推進策を考え、新たな提言をかかげることができました。

VAD協議会の皆様にも、この問題に関心を持ち、様々なご意見、ご提案を> 頂けますと幸いです。

宜しくお願い致します。

研究開発代表者

静岡県立こども病院 心臓血管外科

坂本 喜三郎

<https://www.shizuoka-pho.jp/kodomo/news/20220516/upload/20220516-143049-8038.pdf>